

広報としま 5



平成 28 年 05 月 30 日発行 (隔月発行) Toshima Village Public Relation 2016.05. No.221



▼就任式の様子

▲当選後初登庁する肥後 正司村長



CONTENT

- ・ 十島村長就任挨拶を掲載しました。
詳しくは>>2 ページへ
- ・ 諏訪之瀬島小中学校、小宝島小中学校開校式を掲載しました。
詳しくは>>4 ページへ

【お知らせ】

今年度から広報としまと議会だよりは冊子を分けて発行します。



肥後 正司 村長

木々の緑が深くなり、初夏の陽ざしになってまいりました。

私は、先の村長選挙において、一期目に引続き無投票にて十島村長として村政を担わせていただくことになり、大きな責任を感じると共に身の引き締まる思いであります。

一期目は、掲げた政策を達成すべく邁進してまいりましたが、ある程度進むべき方向性は確立できたと思っております。

まず、人口問題を村政の最優先課題と位置づけ、1人でも人口を増やす取り組みを積極的に行った結果、村長就任時の人口が617人から、先月末で約15%増の713人となっております。

次に、基幹産業の強化のために農畜水産業の強化対策を積極的に推進してまいりました。

中でも、畜産業を村の最大の基幹産業と位置づけ、畜産農家の基盤強化と所得向上を最大限バックアップしました。その結果、この4年間で村内での子牛価格は1億1千200万円の売上げ増となっております。水産業では、水産加工会社を誘致し、島内での鮮魚の直接買い付け等、漁業者の所得向上に取組み、併せて漁業施設の整備や支援制度の新設・拡充等にも取組みました。

就任挨拶

農業関係においては、新規就農者を中心に「島ラックキョウ」や「島バナナ」の生産拡大を進め、また「神・非神」の産地化にも取組んだところであります。

地域づくり対策は、今後の十島村のあり方を左右する重要な政策の一つであります。数年前から地域と行政の協同で取り組んでおりますが、次世代を担う「人材づくり」の育成が早急に求められており、「村づくり」は、「人づくり」であると言われるように、10年先から20年先の十島村の将来像を見据えた「20代から40歳代層」を中心とした人材育成に取り組んでまいります。また女性の人材活用も積極的に進めてまいります。

4 「生活環境対策の充実」として、

「生活環境の整備・充実を通し、住み良さを実感できる島づくりを進めます。」

村民や定住予定者、出身者が「住みたい・住み続けたい・戻りたい」を思えるような生活環境の整備を目指す中で、ガソリンスタンドの整備、郵便局がない島に郵便局の設置などを通して住み良さを実感できる島づくりを進めます。

防災対策として、防災行政無線の老朽化に伴うデジタル化や、避難所の整備、防災備蓄品の整備、消防団員の機能強化等を進めて参ります。

保険・医療・福祉対策として、医療器材の強化や保険指導・食生活改善指導の強化に取組むとともに住民が安心して医療が受けられる体制の整備を関係機関等と連携して進めてまいります。

教育文化対策として、山海留学受入れ対策の組織づくりや、寄宿舎整備を進め、児童生徒数100人規模を目指すとともにテレビ会議システムを活用した児童生徒の学力向上対策や教員住宅の整備等にも取組みます。

また、トカラの伝統芸能祭や体育大会、村誌追録版制作等も進めてまいります。

5 「交通対策の向上」として、

「利便性の高い離島交通ネットワークの整備に努めます。」
本村唯一の交通機関「フェリーとしま」の建造に取組み、住民や利用者に見られる新船として平成30年4月就航予定を進めてまいります。

少子化対策では、「ミルク・オムツ支援」「産後ケア制度」のほか、本村で初めての保育施設を宝島と中之島に開設し、子供たちの成長を支援してきました。

高齢者対策として、「フェリーとしまの乗船券無料交付制度」の拡充や「予防接種の無料化」、「住宅の補修費支援制度」等に取組み、高齢者の経済的負担の軽減対策を強化しました。また介護予防対策として、口之島に「なごみの里」、中之島に「くろぎの郷」のサロン施設を設け、高齢者が「何時までも島で生活しやすい環境づくり」を進めたところであります。

交通ネットワーク対策として、村民の悲願であったフェリーとしまの「全便名瀬便化」の実現、長年の課題であった「寄港順路の変更」、「旅客運賃の割引制度」の導入、「運航ダイヤ」の見直し等を実施し、またフェリーとしまの代替船建造の方性にも取組みました。

学校教育関係では、学校設立以来86年間、分校状態が続いていた諏訪之瀬島と小宝島を本校に昇格させることを実現し、両校の学校教育の正常化が図られたところであります。

以上がこの4年間で達成した主なものですが、十島村はまだまだ取組んで行くべき課題を多く抱えております。

私は、二期目の村政を担うに当たり、これまで取組んで来た政策を継続・強化することを基本とし、次の7項目を主要政策として取組んで行く考えです。

1 「定住促進対策の強化」として、

「魅力的な定住促進策を実施し、人口の増加定着化を図ります。」

十島村は、ここ数年、人口増と全国的にも珍しい自治体として注目されております。今後も定住対策の歩を止めることなく、介護や子育て等の福祉対策の強化のための人材の確保や経験豊富なシニア層の人材活用、出身者のUターンを促進する奨学金免除制度の拡充等に取組みます。

2 「産業振興対策の推進」として、

「農畜水産業や観光業に代表される基幹産業の強化推進に取り組みます。」

また、住民生活の向上や産業振興を進める上で、運航便数の週3便化、運航ダイヤの見直し、運賃の低廉化等に取組みます。

6 「情報通信基盤対策」として、

「ITの普及促進に取組み、情報格差の解消に努めます。」
情報通信基盤の確立は新たな産業興しや定住対策にも直結し、安定的な情報通信体系の更なる整備を進めてまいります。

7 「行財政対策の強化」として、

「住民満足度の高い行政サービスの提供に努め、健全な行政執行を目指します。」

本村の財政状況は、主要財政指数が示すとおり、健全性は概ね良好な状況にあります。今後も村政運営の基本として健全な財政基盤を堅持するとともに積立基金の効率的な資金運用やふるさと納税制度並びに企業版ふるさと納税制度を強化し自主財源の確保を目指してまいります。

行政組織の機能強化を高める上において、職員の意識改革と資質向上は絶対的要件にあります。日々変化する社会情勢に対応可能な職員育成として研修制度等を強化してまいります。以上のように主要政策の一旦について触れましたが、十島村が抱えている課題は、何れも必要不可欠な政策であります。中でも自治機能を維持するための人口の確保は最たるものであり、村民の皆様と共通認識を持って取り組む課題であります。「十島村に住んで良かった」と実感できる村政を築いていくために、この4年間の村政運営やこれまで培ってきた多くの人脈を活かして、十島村の「未来への挑戦に向けて」全力を持って取組んでまいります。

村民の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして就任の挨拶といたします。

本村の基幹産業である「畜産業」は、村の積極的な支援策と農家の技術向上により、バブル状態を思わせるような好結果を齎しております。この畜産業を本村のモデル産業と位置づけ、更なる支援体制を強化するとともに繁殖雌牛の1000頭規模等を目指してまいります。

農業関係では、十島村特有の農産物・バナナ、ラッキョウ、スイートスプリング、タケノコ、サンセベリア等の生産強化はもとより、神・非神の栽培等にも積極的に取組んで参ります。

水産業関係では、3年前に誘致した水産加工会社との連携を強化し、販路拡大を強化してまいります。また基幹産業の一翼を担うべき水産振興を推進する上で十島村漁業協同組合のあり方や漁業者を育成するためのアドバイザー制度の創設等を進めます。

次産業の促進策として、新規就業者の初期設備投資支援や師弟制度の創設、またふるさと納税の返戻品の強化として農林水産物の生産拡大を積極的に推進してまいります。

また、民宿業の開業支援制度の創設や衛生環境の指導強化、観光ガイドの養成、十島村の地域性を活かした体験型観光対策を進めてまいります。

3 「少子高齢化や地域づくり対策の強化」として、

「子どもや高齢者にやさしく、住民一人ひとりがいきいきと輝ける地域づくりを目指します。」

少子化対策では、子育て世代への支援強化は、今後の十島村の定住対策に大きな効果を持つこととなります。「子育て係」の設置や「子育て指導員」の配置を行うとともに「保育施設」を早期に全島に整備、保育料の無料化にも取組み子育てに優しい地域を目指します。

高齢者対策では、高齢者の経済的負担の軽減対策を進めている中で、住み慣れた島で生き生きと生活が出来る環境づくりとして、「介護予防・日常生活支援総合事業」の早期の全島整備を進めてまいります。

また、老人クラブの全島設置を進め、高齢者が生き生きと住みやすい地域づくりを目指してまいります。

平成28年4月24日執行 十島村長及び議会議員選挙結果

任期満了に伴う、十島村長及び議会議員選挙を、平成28年4月24日に執行いたしました。十島村長選挙は、定員1名に対し立候補者1名であったため無投票となり、十島村議会議員選挙は、定員8名に対し11名の立候補がありました。4月25日に開票・選挙会を開催し、当選者が決定しました。

【当選者（立候補届出順）】

得票数	党派別	氏名	得票数	党派別	氏名
46	無所属	前田 功一	44	無所属	日高 久志
64	無所属	矢野 紀道	60	無所属	坂元 勇
50	無所属	松下 直志	62	無所属	日高 助廣
32	無所属	田中 秀治	49	無所属	永田 和彦

2 分校が本校として開校

～諏訪之瀬島小・中学校、小宝島小・中学校～

諏訪之瀬島

小宝島



△児童生徒代表挨拶をする山木君（諏訪之瀬島）



△児童生徒代表挨拶をする上三垣さん（小宝島）



△諏訪之瀬島旗授与式の様子



△小宝島旗授与式の様子

平成 28 年 4 月 5 日（火）午後 1 時 30 分から諏訪之瀬島小・中学校で、4 月 7 日（木）午後 4 時から小宝島小・中学校で、それぞれ開校式が開催されました。85 年の分校の長い歴史に幕を閉じて、本校として新たなスタートを、それぞれの島民揃ってお祝いしました。開校式では、村長式辞、教育長あいさつの中で、分校としての長い歴史に思いをはせるとともに、本校設置に至るまでの経緯等について説明がなされました。これまで、分校の教育に強い思いを寄せていただいた島民の方からも、多くの喜びの声が聞かれました。

諏訪之瀬島小・中学校では、吉永久志校長が「分校の歴史を引き継ぎながら、新たな歴史を作り上げるため、羽ばたいていきましょう。」と述べました。児童生徒代表の諏訪之瀬島中学校 3 年生山木力羅君は「本校の新しい歴史を築いていきたい。」と意気込みを語りました。

小宝島小・中学校では、田畑浩和校長が「保護者や地域住民からの期待に応えることが本年度の最重要課題。身を引締め臨みたい。」と述べました。児童生徒代表の小宝島中学校 3 年生上三垣理恵さんは「新生小宝島小・中学校生として、今までの分校の伝統を受け継ぎながらも、自分たちの手で学校づくりに取り組みたい。」と抱負を語りました。

両島民からは「経験豊かな校長先生が来てくれて心強い。」などと、学校への期待が寄せられています。

これで、本校 5 校と分校 2 校だった十島村立の学校は、本校 7 校となりました。児童生徒も増え、先生たちも昨年度より 10 人増えました。

両校の本校化により、学校が一段と活気づき、地域のシンボルとして、ますます充実発展していくことが期待されます。

口之島

くちっこハウスの取り組み

口之島では、昨年4月より保育経験者の保護者の方々が主体となり“お集まり”を実施しています。今年4月からは0～5歳児までの10名の未就学児が“お集まり”に参加し、楽しく遊びながら集団生活や社会性の芽を育てています。写真は、4月26日（火）に「子ども・子育て支援教室」で保健師と栄養士と保育士が訪問した日の様子です。



♪やねより
たかい～こ
いのぼり～
♪
すてきな「こ
いのぼり」を
作りました



折り紙ペー
プサート「だ
いこん にん
じん ごぼ
う」の
おはなしを
きいたよ

お母さん達は栄養士さんと一緒にママクッキング！
こどもの日の行事食を作り、親子一緒においしくいただきました。ごちそうさまでした～



- ・ お魚バーグ
- ・ かぶとご飯
- ・ 野菜と卵としスープ
- ・ ひじきサラダ
- ・ いちごムース



<子ども・子育て支援教室>の取り組み

「子ども・子育て支援」の取り組みとして、各島に保育士を派遣し子どもたちと一緒に遊び学ぶ“保育”“幼児教育”の場を提供したり、親子触れ合いの時間を共有したり、子育て相談等も行っています。

また、保健師や栄養士による食事や育児相談なども実施していきます。



☆ 宝島「子育て広場 いまきら園」の様子 ☆



3月22日、村で初めての子育て支援拠点施設として昨年4月に開園した「いまきら園」の第1回目の卒園式が行われ、3名の卒園児が小学校入学への期待に胸を膨らませながら、いまきら園を巣立っていきました。



4月7日、2名の新入園児を迎え「いまきら園」の第2回入園式が行われました。会場の皆さんからたくさんの拍手をいただき、ほのぼのとした素敵な入園式になりました。園では、1～5歳児までの未就学児を預かり、保育および幼児教育や子育て支援の場を提供しています。



地域の皆様に温かく見守られながら卒園式・入園式が行われました

☆ 中之島「ほしのご園」の様子 ☆

3月19日、村で2つ目の子育て支援拠点施設として平成28年10月に開園した「ほしのご園」の第1回目の卒園式が行われました。



4月9日、「ほしのご園」の第2回入園式が行われました。2名の新入園児を迎え、現在1～5歳児までの未就学児11名が在園しています。

先生やおともだちと一緒に、歌ったり体操したり、指遊びや読み聞かせや、お絵かきや制作あそびをして、元気いっぱい過ごしていきます。

ご入学おめでとうございます！！

春爛漫の心地よい季節となってきた4月。口之島、中之島、諏訪之瀬島、悪石島、小宝島、宝島の小中学校に、希望に満ちた、新入学生がそれぞれ入学されました。それでは、元気いっぱいの新入学生徒、児童をご紹介します。

僕は後輩を上手に引っ張っていきけるリーダー的存在になりたい。みんなから頼られるまとめ役となれるよう、中学生として自分を律し、学ぶべきことをしっかり学び、何事にも率先して取り組み、全力を尽くしたいと思う。

悪石島中学校 久永 太陽さん



山海留学で諏訪之瀬島に来た上田萌々楓です。勉強と部活を両立させて、島民の皆さんと楽しい島の生活を過ごせられるようにがんばりたいです。よろしく願います。

諏訪之瀬島中学校 上田 萌々楓さん

わたしのなまえは、上三垣 果純です。1年生になってがんばりたいことは、ながなわといちりんしゃです。こくごさんすうのべんきょうも、ともだちといっしょにがんばりたいです。

小宝島小学校 上三垣 果純さん



僕は渡邊築です。好きなことは釣りです。嫌いなものはフェリーです。酔ってしまうからです。僕は学校で苦手な教科をがんばりたいのと、釣りで1m以上の魚を釣ることをがんばりたいです。

諏訪之瀬島中学校 渡邊 築さん

僕は、「あいさつをしっかりとすること」、「勉強を頑張ること」、「毎日運動すること」という3つの目標を立てました。今年から始まるバドミントン部の練習も楽しみです。充実した学校生活を送りたいです。

小宝島中学校 有馬 蓮さん



ぼくは、ひらがなを上手に書けるようになりたいです。時間割を見て、自分で準備ができるようになりました。今、学校で日直の仕事頑張っています。いちばん楽しいのは体育で、音楽に合わせて動くのが好きです。

悪石島小学校 久永 大地さん

わたしが、がんばりたいことは、がっこうのおべんきょうです。それと、あさのランニングをがんばりたいです。

宝島小学校

寺田 紫雲さん



ぼくは、お兄ちゃんの辞典を見て、知っている字を探すのと、音読を毎日頑張っています。学校のお兄ちゃんやお姉ちゃんたちとみんなでサッカーをするのがとっても楽しいです。計算が早くできるようになりたいです。

悪石島小学校 片野田 音さん

おともだちとげんきにたのしく、べんきょうやうんどうをがんばりたいです。きゅうしょくをたくさんたべます。

宝島小学校

福島 実優花さん



早く時計を読めるようになりたいです。野菜が苦手だけど、給食ではちゃんと食べられるようになりました。教室掃除で雑巾(がけ)も頑張っています。いちばん楽しいのは、体育でボールを使って遊ぶことです。

悪石島小学校 有川 美優さん

今までは、小学生をまとめたり指示を出したりしていました。これからもずっと続けていきたいです。中学生になって、勉強や運動も難しくなるのでがんばっていききたいです。

宝島中学校

飯田 輝星さん



ぼくの中学校での抱負は、自分の考えや意見をまずは出すことです。自分の考えをまわりの人に知ってもらい、これを実行することで他の人に刺激を与えられる人間になれるよう成長していきたいです。

中之島中学校 宮村 怜志さん



ぼくはテストで100をとれるようにべんきょうをがんばりたいです。ぼくにいろんなことをおしえてください。よろしくおねがいします。

口之島小学校

岡本 悠真さん



私の中学校での目標は、小学生を引っ張っていきけるようになることです。また、苦手な教科をがんばり、得意になることです。小学校のときとはちがいで達成できるようにがんばっていききたいです。

中之島中学校 小林 ひかるさん



中学生になって頑張りたいことは、周りのことを考えられるようになること、そしていろんなことにチャレンジすることです。この3年間で後輩に慕われるような先輩になれるようにがんばります。

口之島中学校

中村 拓海さん



ぼくは、はじめてすわのせじまにきたので、みんなともだちになりたいです。かしくなれるように、べんきょうもがんばります。

諏訪之瀬島小学校

沖園 豪陽さん



小学校に入っていちばんたのしいのは、ひるやすみにドッチボールをすることです。みんなであそぶのはとてもたのしいです。これから、一りん車にのれるようになります。がんばります。

中之島小学校

藤谷 萌夏さん



ぼくは、さんすうがにがてなので、テストでひやくてんをとれるようにしたいです。しゅうちゅうしてべんきょうできるようにしたいです。

諏訪之瀬島小学校

日高 凪皇さん



僕は中学生になり、色々なことをがんばっていききたいです。その中でも、恥ずかしながら人に話ができるようになりたいです。そして三年生になったら、大人数の前でも話ができるようになりたいです。悔いのない中学校生活を送れるよう努力します。

中之島中学校

平泉 翔大さん



わたしが、がんばりたいことは、たいていです。とびばこをがんばって、おにいちゃんよりたかくとべるようになりたいです。

諏訪之瀬島小学校

濱田 千明さん

消防学校に入校しました！

平成28年4月12日（火）から2日間の日程で行われた消防団基礎教育に、入校者40名のうち、十島村消防団から7名参加しました。日置市にある鹿児島県消防学校で行われた基礎教育ですが、主な教育内容としては、「組織制度」・「火災防ぎよ」・「防災」・「救急救助」・「緊急自動車運行管理」・「安全管理」・「訓練礼式」などです。消防団の歴史や組織の概要を学び、消火活動に必要な燃焼・消火の理論、筒先、ホース等の取扱いを習得し、実際に放水訓練を実施しました。安全管理心肺蘇生法を学び、火災や各種災害現場において活動が円滑にできるよう知識習得に努めました。

また、今回、初めて女性消防団員として、悪石島分団から1名入校しました。他に、女性消防団員の入校者がいなかったため、最初はすごく不安だったようですが、他の市町村の入校者との会話も多くあり、だんだん雰囲気になじめたようでした。普段、島では行わない「ホース訓練」や、「訓練礼式」などを学び、大変勉強になったようです。

今後も、消防団員の方で、消防学校に入校されていない方を対象に、消防団基礎教育の入校の案内をさせていただきますので、各島消防団組織向上のためにも入校をお願いします。



消防学校での様子1



消防学校での様子2

子牛のセリが行われました

3月14日（月）、4月11日（月）、5月13日（金）に鹿児島中央家畜市場にて、子牛のセリが行われました。結果は次のとおりです。また、3月の日高創氏の子牛（去勢）の最高価格、4月の平田浩一氏の子牛（去勢）の最高価格はどちらも100万を超えるという、大変喜ばしい結果となりました。

最高価格者

3月	去勢	日高 創 氏		4月	去勢	平田 浩一 氏		5月	去勢	日高 創 氏	
		1,007,000円	平田 浩一 氏			1,167,000円	平田 浩一 氏			893,000円	平泉 二太 氏
	雌	775,000円		雌	805,000円		雌			734,000円	

喜びのコメント

十島村の子牛が市場において高い評価を受けている中で、村内で初めて100万円以上で販売することができて大変うれしく思っています。今後も十島村から素晴らしい子牛が育って行くことを願っています。



△日高創氏の子牛

今回、出荷した牛については、小さいときから人懐こく、発育も良かったので、自信を持って出荷することができました。これからも、購買者が求める子牛を安定して出荷できるように頑張っていきたいです。



△平田浩一氏の子牛

【日高 創 氏】

【平田 浩一 氏】

母の日のカーネーション 十島村の小・中学生へ



▲田知行氏（左）と教育長（右） 言われているように、このことを親への感謝を表す機会とし、親を大事にする気持ちを持ち続けて

ほしいものです。5月12日（木）には、子どもたちから田知行氏へのたくさんのお礼の手紙が教育委員会に届きました。早速、田知行氏にお届けしようと思います。



5月6日（金）午後4時30分、南埠頭で、本名町の田知行義久氏から、母の日のカーネーションが、今年も十島村の小・中学生94人に贈られました。南埠頭では、十島村と三島村の教育委員会職員等が見守る中、両教育長に赤いバラの束が手渡されました。有村教育長は「年に一度の心の込もったプレゼント。島の子どもたちも心待ちにしている。」とお礼の言葉を述べました。バラの花は、この日の夜、フェリーとしまで各島へ運ばれ、8日の母の日には、各家庭で子どもたちから母親へとプレゼントされました。35年も続いているこの贈呈に込められた田知行氏の情熱には、本当に頭の下がる思いです。田知行氏も



カーネーションを母親へプレゼント

こんにちは♪ 赤ちゃん

～十島村で生まれた赤ちゃんのご紹介～



諏訪之瀬島

鎌倉 豪さんちの喜一（きいち）君
お誕生日：平成27年12月11日



宝島

高木 義浩さんちの想和（そうわ）君
お誕生日：平成28年2月16日



宝島

舩水 礼さんちの作良（さくら）君
お誕生日：平成28年4月2日



高齢者等居住環境整備支援事業を実施しています

村では、高齢者等の安心、安全な生活の確保を図るために、日常生活の居住環境改善等に要する費用を支援しています。

【対象者】

- (1) 70歳以上の高齢者世帯
- (2) 介護保険上の要支援、要介護認定者が属する世帯
- (3) 身体障害者手帳の交付を受けている者で、障害等1級又は2級の身体障害者が属する世帯

【内容】

対象経費の2/3助成、200,000円以内、利用回数は年2回
ただし、要介護（要支援）認定者は介護保険居宅介護（予防）住宅改修費を優先するものとし、その分を控除した額を助成の対象とします。

【対象事業】

- ・住宅及び進入口のバリアフリー化
- ・管理している宅地内樹木等の剪定及び伐採
- ・居住する住宅の改造にあたらぬ維持補修
- ・居住する住宅内の安全・介助に要する経費
- ・敷地進入部の改善
- ・災害被災と認められた軽微な補修

いずれも、実施期間は概ね3日間以内。

【対象経費】

賃金、運搬費、機器レンタル料、材料費。

【経費の算出】

助成対象額の算定基準は、次のとおりです。

- (1) 賃金は、日額7,000円
- (2) 機器レンタル料、材料費は、業者見積書額
- (3) 運搬費は、村内航路運賃

助成金の申請については、高齢者等居住環境整備支援助成金交付申請書に必要書類を添えて住民課に提出いただくことになります。

詳しくは、十島村役場住民課へお問い合わせください。



高齢者向け給付金

（年金生活者等支援臨時福祉給付金）



支給対象者

- ・平成27年度臨時福祉給付金支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる方が対象です。

支給額

- ・1人につき 30,000円

基準日

- ・平成27年1月1日

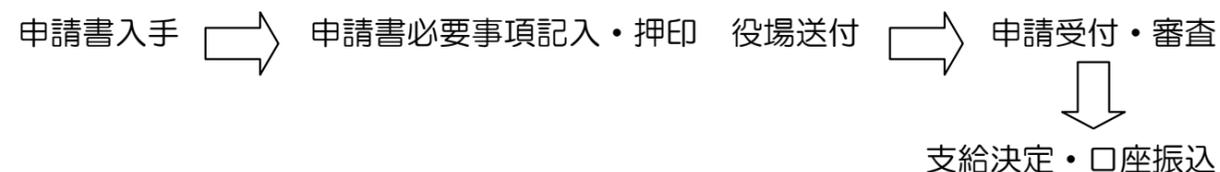
◇給付を受け取るためには、申請が必要です。

◇申請先は、昨年（平成27年）1月1日時点でお住まいの市町村です。

◇対象と思われる方には、4月下旬に役場から申請書等を送付しています。

◇申請期限 平成28年7月25日（月）必着

支給までの流れ



申請書が届かないときは・・・

○対象と思われる方へは、4月下旬に申請書等を送付していますが、次の方へは申請書をお送りしていません。

- ◆平成27年度の住民税が課税されている方
- ◆平成27年度住民税課税者に扶養されていると思われる方
- ◆未申告などにより住民税が確定されていない方
- ◆平成27年1月1日において、生活保護を受給されていた方（基準日以降該当世帯も含む）

○申請書が送付されていない人でも、対象になることがあります。

- 1 申請方法に関するお問い合わせ
十島村役場住民課福祉係
電話：099-222-2101

- 2 制度に関するお問い合わせ
厚生労働省給付金専用ダイヤル
電話：0570-037-192



確認じゃ！
高齢者向け
給付金。



（年金生活者等支援臨時福祉給付金）

[ネコを飼われている方、ノラネコにエサをあげている方へ]

かわいいネコたちも、数が増えるとふん尿による悪臭や、場合によっては畑や作物を荒らす被害などで、地域からの苦情が出る原因となってしまいます。

エサをあげるだけで、ふん・尿の世話をしないのは無責任な行動です。知らない所で近隣や周囲の人に迷惑をかけている事も考えられます。ネコを飼われている方、ノラネコにエサをあげている方、今一度ご近所の確認をお願いします。

ネコの飼い方

① きちんと飼い、ご近所に迷惑をかけない事

ふんや尿をどこでしていますか？敷地内にねこ用のトイレ砂場がありますか？
ご近所の菜園や庭を荒らしたりしているかもしれません。

② ネコの健康と安全のために室内で飼いましょう

病気にかかりにくくなり、外での事故にあう事はありません。

③ どうしても室内で飼う事ができない時は、不妊等に努めましょう

ネコは交尾後排卵といって、交尾をすれば100%妊娠する動物です。去勢・不妊手術をすれば不幸なネコが増えることはありません。

～ネコは、妊娠から約2か月で出産し、1回に2～6匹ほどの子ネコを生みます。そして、個体差はありますが、約1年で大人のネコになります。年に2～4回の出産をするネコも珍しくありません。～

【ネコの頭数増加のシミュレーション】



※年1回4匹出産、その4匹のうち2匹がメスネコとした場合のシミュレーションです。

不妊等の対応をしないまま放置すると、ネコはあっという間に数が増えます。

ふん尿による悪臭や、畑等への被害、またえさ代等の負担も大きなものになります。

頭数が増えると、ネコも、飼い主も、ノラネコにえさをあげている方も、地域の方々も、みんなが大変な思いをすることになります。

「ノラネコにえさをあげない」、

「不妊等の増頭対策をしっかりする」

などし、ネコも人間も住みよい環境づくりに努めましょう！！



十島村住民課村民室 TEL 099-222-2101

国民健康保険のはい・きゅう施設利用

はい・きゅう利用券をご存知ですか？



【利用できる方】

国民健康保険・後期高齢者医療被保険

【利用内容】

- (1) 施術は1日1回、1年度間30回まで。
- (2) 補助額は、1回につき1,200円。(=施術費用から1,200円を控除した額が窓口負担となります。)

【利用できる施設】

- (1) 鹿児島市保険鍼灸師会会員
 - (2) 鹿児島県鍼灸師会名瀬支部会員
- 上記のうち村長が指定する施設

【注意事項】

- (1) 利用券の再交付はできません。大切に保管してください。
- (2) 利用券には有効期限があります。(今年度は平成27年4月1日～平成28年3月31日)
- (3) 傷病によっては利用できない場合があります。事前に確認ください。
- (4) ご不明な点は、住民課村民室保険係までお問い合わせください。

【利用するためには】

事前に利用券交付申請をしてください。

【はい・きゅう施設利用券交付申請】

- (1) 出張所窓口でも申請、交付を受けることができます。
- (2) はい・きゅう施設利用券交付申請書(様式第2号)を提出。
※印鑑と国民健康保険被保険者証が必要です。
- (3) はい・きゅう施設利用券の交付を受けてください。

今年の4月より中野緩奈先生の後任で悪石島・小宝島・宝島の巡回診療をさせていただきます県立大島病院の永山純と申します。専門は内科一般です。

昨年までは鹿児島赤十字病院に勤務しており、十島村の診療は3年目になりました。引き続き十島村の皆様の健康増進に寄与できるよう精進いたしますので今後ともよろしくお願いいたします。 南部3島の巡回医師 永山 純 さん



ニューフェイス



フェリーとしま 園田 直樹 さん

臨時職員として、7年4ヵ月乗船しました。その間、村民の皆様、役場職員の方々に大変お世話になり、ありがとうございます。4月より役場職員の一員としての自覚を持ち、乗組員一同力を合わせ、安全を最優先とした仕事をさせていただきます。



中之島駐在員 堀之内 渉 さん

今春の異動で中之島に赴任してきました堀之内です。妻と子ども二人の4人で赴任しました。 十島村の「安全」・「安心」を守るために皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



宝島出張所出張員 平田 祐喜 さん

高校進学のため、故郷を離れてから18年。ようやく宝島に帰ってくることが叶いました。トカラの美しい自然と伝統の文化は以前と変わらず在ることに感激しました。村の存続・繁栄のために、行政・島民・Uターン者、人と人の架け橋となり、より豊かな島になるよう、尽力してまいります。



地域おこし協力隊 (畜産支援員) 杉村 剛 さん

はじめまして。地域おこし協力隊として口之島に行かせて頂く杉村と申します。元気が持ち前なので他の島の方々や役場の方々ともたくさん関わりが持てると嬉しいです。よろしくお願いいたします。

浄化槽法定検査 (法第11条) 受検のお願い

この検査は、浄化槽の適正な維持管理による環境保全を目的に実施するもので、**知事が指定した検査機関である(公財)鹿児島県環境検査センターの検査員が事前にハガキで通知した検査日にお伺いし、現場での検査と浄化槽の放流水を採水し持ち帰っての水質検査を行います。(地元の保守点検業者が行う保守点検とは別のもので)**

毎年1回実施することとなっているこの検査は、11人槽以上及び官公署の浄化槽を検査対象としていましたが、平成17年度から10人槽以下の家庭槽も検査対象となりました。

検査対象となった浄化槽(設置年度ごとに対象としています)については事前に指定検査機関から日程通知がありますので必ず受検していただきますようお願いいたします。

検査手数料(5~10人槽)

検査料金	単独処理浄化槽	合併処理浄化槽
定期検査	4,000円	6,000円

問い合わせ先

(公財)鹿児島県環境検査センター

Tel. 099-296-9000

<http://www.kagoshimakensa.or.jp>

鹿児島県生活排水対策室

Tel. 099-286-3685

伊集院保健所衛生・環境課

Tel. 099-273-2332

十島村住民課村民室

Tel. 099-222-2101



宝島出張所出張員 平田 哲也 さん

平成28年3月31日付けで宝島出張員を退職いたしました。島に平成6年にUターンして平成15年から宝島出張員として約13年間務めてまいりました。これもひとえに村民の皆様、役場職員の皆様のおかげだと感謝しております。これから鹿児島で新しい人生を送りたいと思っております。今までありがとうございました。



住民課保健師 森永 涼子 さん

1年間という短い間でしたが、十島村の皆様には大変よくしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にお世話になり、ありがとうございました。

退職職員のお知らせ

トカラふるさと基金の活用事業

平成28年度当初予算活用充当額 7,833千円
積立見込額 15,000千円

○ ふるさと納税推進事業	活用額	4,000千円	事業費	12,008千円
○ 海外ホームステイ派遣事業	活用額	383千円	事業費	2,530千円
○ 地域振興推進事業	活用額	300千円	事業費	5,653千円
○ 特定健診巡回診療	活用額	1,050千円	事業費	3,179千円
○ 定住促進対策事業	活用額	500千円	事業費	20,521千円
○ 非常備消防一般経費	活用額	600千円	事業費	5,584千円
○ ファミリー劇場事業	活用額	1,000千円	事業費	1,620千円

※今後の補正予算において、列島マラソン大会への活用など、積極的な活用を図る予定です。

▶積立基金現在高の推移 (単位:千円)

基金名称	H26 未残高 決算額	H27 未残高 見込額	H28 当初 予算増減	差引残高
財政調整基金	459,858	393,146	△158,292	234,854
減債基金	500,593	480,771	△50,000	430,771
渡船基金	918,575	918,575	△10,000	908,575
住民医療費運営引当基金	300,000	300,000	0	300,000
災害引当基金	100,000	100,000	0	100,000
肉用子牛価格安定基金	191,800	191,800	0	191,800
地域振興基金	428,125	405,589	△145,955	259,634
トカラふるさと基金	6,877	12,681	7,167	19,848
合計	2,905,828	2,802,562	△357,080	2,445,482

平成28年度 当初予算

平成28年度の予算は、村財政の財源不足は継続していますが、国や県と歩調を合わせつつ、重点的に取り組んでいる人口激減対策、雇用対策、介護・子育て対策、遊休農地復活対策、住民参画・住民協働の推進事業など、「第5次十島村総合振興計画」及び「十島村過疎地域自立促進計画」、地方創生における「十島村総合戦略」の実現のため取り組む方針ですが、村長選挙が実施されることから、骨格予算で編成しています。

平成28年度の当初予算がまとまり、3月議会定例会において承認されましたので、主な事業と一般会計の歳入・歳出状況についてお知らせいたします。

▶会計別予算規模の推移 (単位:千円・%)

会計名称	平成28年度	平成27年度	増減額	増減比
一般会計	3,602,099	3,801,802	△199,703	△5.3
国民健康保険特別会計	119,692	104,616	15,076	14.4
船舶交通特別会計	3,026,926	929,507	2,097,419	225.6
介護保険特別会計	95,465	103,544	△8,079	△7.8
介護サービス特別会計	1,080	1,080	0	0.0
簡易水道特別会計	108,967	66,594	42,373	63.6
後期高齢者医療特別会計	6,463	6,835	△372	△5.4

※船舶交通特別会計の大幅な増は、新定期船の建造に係る経費が影響しています。

歳入の主な特徴

- 普通建設事業費が骨格予算のため、大きく減少。
- 人件費については、保育に係る人件費が宝島に加え、平成28年度は、中之島及び諏訪の瀬島も加わるため、前年度当初予算より増加。また、議員報酬及び特別職報酬の減額特例を本則に戻していることや、一般職員の定期昇給に伴う増、産業における新規採用職員の給与費等の計上などで増加。
- 災害復旧費については、平成28年1月の豪雨災害における道路災害復旧費が大きく影響。
- 積立金については、ふるさと納税の積立金が大きく影響。

歳出の主な特徴

- 個人村民税、法人村民税ともに増加。
- 固定資産税は減少。
- 財産収入は、国債及び地方債の売却により利子収入の減少などが影響。
- 寄付金は、ふるさと納税制度拡充により大幅増の見込み。
- 繰入金については、財政調整基金、地方振興基金等で公共事業等の財源を確保。
- 諸収入は、施設災害における保険金が前年度と比較して減少していることなどが影響。

一般会計歳出と対前年度増減

※構成比を合計した場合、各項目で四捨五入しているため、合計数値とは相違しています。

○ 一般会計 3,602,099千円
対前年度比 △199,703千円
△5.3%

○ 特別会計 3,333,969千円
対前年度比 +2,121,793千円
+175.0%

>> 総額 6,960,692千円 (38.8%) の増額予算

▲会計当初予算規模の推移 (単位:百万円)

自主財源

区分	項目	予算額	構成比	対前年度比較 増減額	増減率
自主財源	村税(住民税・固定資産税など)	63,430	1.8	△51	△0.1
	分担金及び負担金(老人福祉施設費など)	223	0.0	84	60.4
	使用料及び手数料(診療所負担金・家賃等)	74,860	2.1	5,000	7.2
	財産収入(土地貸付など)	12,896	0.4	△8,051	△38.4
	寄附金(ふるさと納税等)	15,001	0.4	11,000	275.0
	繰入金(貯金の取崩など)	363,458	10.1	38,061	11.7
	繰越金	1	0.0	0	-
	諸収入(他に属しない雑収入)	22,682	0.7	△5,748	△20.2
	【自主財源計】	552,551	15.3	40,295	7.9
	地方譲与税(利子・配当・株式含む)	20,980	0.6	△2,353	△10.9
依存財源	地方消費税交付金	9,996	0.3	762	8.3
	自動車取得税交付金	2,843	0.1	949	50.1
	地方特例交付金	1	0.0	0	-
	地方交付税	1,257,328	34.9	△75,279	△5.6
	国庫支出金	1,155,921	32.1	47,190	4.3
依存財源	県支出金	218,779	6.1	△164,967	△43.0
	村債	383,700	10.7	△46,300	△10.8
	【依存財源計】	3,049,548	84.7	△239,998	△7.3
	合計	3,602,099	100.0	△199,703	△5.3

※構成比については、四捨五入の関係で項目ごとの合計が自主財源、依存財源のそれぞれの合計値と一致しません。

目的別に見た歳出の推移

※構成比を合計した場合、各項目で四捨五入しているため、合計数値とは相違しています。

19

- 特定診療科巡回診療事業** **事業費 3,179 千円**
 県の支援を受け、歯科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科の診療を行います。
- 妊産婦検診補助事業** **事業費 587 千円**
 妊産婦が検診を受診するため、村外に旅行する費用の一部を助成します。
- 予防接種事業** **事業費 2,454 千円**
 法定定期接種のほか、インフルエンザやおたふくの予防接種を実施するとともに、高校生の予防接種に要する費用の一部を助成します。
- 新25 害虫駆除対策事業** **事業費 1,589 千円**
 蚊などの害虫に加え、スズメバチ、ネズミ駆除剤を支援します。
- 新24 環境緑化推進事業** **事業費 787 千円**
 高齢者や女性の雇用創出とあわせて、地域環境の美化を進めます。
- 廃自動車離島支援事業** **事業費 197 千円**
 自動車の廃車に係る船運賃の一部を助成します。
- 新24 廃二輪車運送費補助事業** **事業費 5 千円**
 二輪車の廃車に係る輸送費の一部を助成します。
- 新24 特定家電海上輸送費助成事業** **事業費 98 千円**
 特定の家庭電化製品に係る輸送費の一部を助成します。
- 新25 各種団体補助（環境衛生）** **事業費 617 千円**
 集落環境の衛生活動に要する集落設備の購入費用の一部を助成します。
- 特定離島（ブヨ駆除）** **事業費 5,782 千円**
 口之島、中之島のブヨ駆除に要する経費です。
- 特定離島（ハブ駆除）** **事業費 500 千円**
 小宝島、宝島のハブ駆除を促進するための買い上げ金です。
- 新25 海岸漂着物地域対策推進事業** **事業費 12,662 千円**
 国の基金事業を活用して、海岸漂着物の除去を進めます。
- 新27 診療所費** **事業費 174,677 千円**
 各島の診療所の運営に係る職員給与費、看護専門員・補助員報酬等、栄養指導員報酬等、診療所運営費、診療所一般経費です。
- 医師派遣事業** **事業費 39,962 千円**
 医師の派遣事業です。平成 27 年度から南部 3 島においては、奄美（県立大島病院）からの医師派遣を実施しています。
- ゴミリサイクル推進事業** **事業費 3,687 千円**
 ゴミ分別収集等に要する経費です。ゴミコンポストの購入費の一部も助成及びリサイクルごみ置き場（コンテナ）整備を図ります。
- 合併処理浄化槽整備事業** **事業費 2,508 千円**
 合併処理浄化槽の整備費の一部を助成します。

- 高齢者の居住環境の改善を支援します。
- 老人福祉施設措置費** **事業費 2,400 千円**
 老人福祉施設に入所した方に係る市町村の負担金です。
- 特定離島（健康増進対策）** **事業費 4,821 千円**
 機能訓練をはじめ、栄養指導、保健指導、及びとからいきいき教室のサポートなど、総合的に健康増進活動を進めます。
- 介護事業所運営事業** **事業費 12,538 千円**
 小規模多機能ホームたからの指定管理、及び施設の管理運営に要する費用です。
- 新24 小規模多機能居宅介護宿泊費助成事業** **事業費 1,617 千円**
 島外からの利用者の負担を軽減することにより、利用の促進を図ります。
- 新25 地域見守り事業** **事業費 149 千円**
 口之島なごみの里をはじめ、各島の見守り活動を進めます。
- 新27 高齢者元気アップ地域包括ケア推進事業** **事業費 366 千円**
 高齢者が加入するグループ活動を支援します。
- 新27 高齢者等住宅改造推進事業** **事業費 1,600 千円**
 高齢者が居住する住宅の改造経費を助成します。
- 新 介護基盤整備事業** **事業費 31,894 千円**
 中之島において、介護予防・生活支援拠点施設の整備を図ります。
- 新27 地域子育て支援拠点事業** **事業費 43,567 千円**
 保育事業に取り組みつつ、保育士等の各島への派遣を実施します。平成 28 年度は、宝島及び中之島につつき諏訪之瀬島に拠点施設を整備します。
- 新 地域おこし協力隊（子ども子育て支援）** **事業費 8,240 千円**
 特別交付税で措置される地域おこし協力隊を活用して、地域の子育て活動などの事業展開を推進します。
- 子ども医療費助成事業** **事業費 559 千円**
 中学生以下（他制度適用医療費除く）の子どものに係る医療費の一部を助成します。
- 新24 ミルク・紙おむつ支給事業** **事業費 753 千円**
 乳幼児に係るミルク、紙おむつの購入費の一部を助成します。
- 新24 体験保育費助成事業** **事業費 1,080 千円**
 乳幼児の保育体験を目的に村外に旅行する費用の一部を助成します。
- 衛生費**
 - 健康増進事業** **事業費 4,127 千円**
 各種検診事業の実施、健康づくり教室の展開により、早期発見、早期治療を推進し、住民の健康をサポートします。
 - 母と子の健康増進事業** **事業費 900 千円**
 乳幼児健診、及び子ども病院のボランティア医療の受け入れによる乳幼児の健康をサポートします。

- 事業費 830 千円**
 3 年に 1 回の評価替えに伴う、平成 29 年 1 月 1 日現在において各島標準宅地の鑑定評価を行います。平成 29 年 1 月 1 日現在の評価は平成 30 年度から適用されます。
- 新 村長及び村議会議員選挙** **事業費 2,525 千円**
 任期満了に伴う十島村長及び村議会議員選挙を同時に執行します。
- 新 鹿児島海区漁業調整委員会委員選挙** **事業費 1,617 千円**
 任期満了に伴う海区漁業調整委員会委員選挙を執行します。
- 新 鹿児島県知事選挙** **事業費 15,559 千円**
 任期満了に伴う県知事選挙を参議院議員選挙と同時に執行します。
- 新 参議院議員選挙費** **事業費 15,093 千円**
 7 月に執行される参議院議員選挙の経費です。
- 地籍調査事業** **事業費 15,547 千円**
 毎年、継続している地籍調査は、平成 26 年度から口之島の地籍調査を開始しています。
- 民生費**
 - 定住促進対策事業** **事業費 20,521 千円**
 定住促進のため 3 年目の節目及び転入費用を子どもの増加促進のため出生、入学祝金、及び中学生以下生活支援金を交付するほか、婚姻にも交付金を交付します。
 - 住民医療費助成事業** **事業費 2,400 千円**
 一定の要件を満たした方が負担する医療費の一部を助成します。
 - 鍼灸施術事業** **事業費 2,388 千円**
 村内に鍼灸施術を受診できる施設がないため、年 3 回鍼灸師を派遣します。
 - 新26 臨時福祉給付金給付事業** **事業費 2,186 千円**
 国の消費増税経済対策事業の一環で村民税非課税者に一時金を給付します。
 - 年金生活者等支援臨時福祉給付金事業（低所得者）** **事業費 5,316 千円**
 平成 29 年度から実施される年金生活者支援給付金の前倒し的な位置づけになる給付費です。
 - 新24 特殊治療船運賃助成事業** **事業費 245 千円**
 一定の重度患者の定期船運賃を助成し、費用の軽減を図ります。
 - 高齢者生きがい対策事業** **事業費 810 千円**
 老人クラブの美化活動を通し、高齢者の生きがいの場を支援します。
 - 新24 高齢者優待乗船券事業** **事業費 5,562 千円**
 70 歳以上の方を対象に年 12 往復できる乗船券を交付します。
 - 新24 高齢者居住環境整備事業** **事業費 400 千円**

- ## 28年度当初予算の主な事業
- 主に新規・拡充事業を紹介します。**
 - 新 …H28 新事業**
 - 新27 …H27 新事業**
 - 新26 …H26 新事業**
 - 新25 …H25 新事業**
 - 新24 …H24 新事業**
 - 総務費**
 - 指定宿泊所宿泊費助成事業** **事業費 3,600 千円**
 鹿児島市、奄美市に所在する村指定の宿泊所宿泊費を助成しています。年々、利用が増加していますが、制度の終期の関係から 4 月～ 8 月分までを計上しています。
 - 船舶特会繰出金** **事業費 8,400 千円**
 中之島に配置する荷役車両の一般財源負担分、及び離島住民割引補助制度、航路運賃特例割引補助制度（諏-名間、平-鹿間）に係る村負担分を見込んでいたほか、繰出基準で定められた児童手当相当額を繰出しています。
 - 新 ふるさと納税推進事業** **事業費 12,008 千円**
 国のふるさと納税制度の拡充及び村の制度の拡充に合わせ、当村のふるさと納税制度の P R 等を行い、自主財源の確保及び特産品等買い上げによる産業振興を進めます。
 - ブロードバンド施設管理費** **事業費 33,553 千円**
 トカラ結ネット及び行政系イントラネットの管理運営に要する費用です。
 - 新25 婚活支援事業** **事業費 251 千円**
 婚活に係る特定の費用の一部を助成し、活動を支援します。
 - 新25 特定離島（定住対策）** **事業費 6,177 千円**
 定住の総合的な促進を図るため、定住促進プロジェクトチームとの連携強化、U I ターン者随員、既 U I ターン者と意見交換、都市での定住説明や面談等を実施します。
 - 新25 地域振興（花嫁対策）** **事業費 1,800 千円**
 婚姻を希望する未婚者の解消を図るため、村内で婚活イベントを開催し、出会いの場を提供します。今年度は、悪石島と鹿児島市内での開催を予定しています。
 - 新25 地域情報化促進事業** **事業費 280 千円**
 地域の I T 環境向上のため、地域パソコン支援員によるサポートを展開します。
 - 地域振興推進事業** **事業費 5,653 千円**
 地域が主体的に取り組む地域づくり活動を支援し、地域の活性化を図ります。
 - 新 コミュニティセンター改修工事** **事業費 2,879 千円**
 平島コミュニティセンターのトイレの改修工事を行います。
 - 新 固定資産標準宅地鑑定評価業務**

新24 離島高校生修学支援事業 事業費 4,005 千円

村外に滞り、通学する高校生の滞在費用及び帰省に要する交通費を支援します。

新 補助離島活性化(山海留学・PR) 事業費 12,656 千円

平成 28 年度は 16 名の受け入れを見込んでいるほか、里親の離島時のサポート家族に対する経費支援を計画しています。平成 27 年度までは、県単補助事業の特定離島ふるさとおこし推進事業にて実施していましたが、平成 28 年度から国の補助制度である離島活性化交付金を活用します。

小学校維持補修費 事業費 21,624 千円

学校施設の維持のため、補修に要する経費です。

新 小学校修学旅行費 事業費 1,168 千円

5 月に小学生 5、6 年生連合で修学旅行を実施する予定です。

新 中学校修学旅行費 事業費 2,355 千円

九州他県への修学旅行を実施する予定です。

ALT 派遣事業 事業費 945 千円

外国語指導助手を各島 3 回派遣し、中学生の英語力向上を図ります。平成 28 年度から派遣回数を 2 回から 3 回に増やし、より充実した外国語教育を推進します。

歴史民俗資料館運営費 事業費 4,210 千円

中之島の歴史民俗資料館の運営(報酬含む)に要する経費です。館長の研修、全館のガス燻蒸を計画しています。

天文台運営費 事業費 1,564 千円

中之島の天文台の運営に要する経費です。

文化財保護対策費 事業費 6,728 千円

中之島のトカラ馬の保護に要する経費(管理人報酬、牧柵補修含む)のほか、伝統芸能保存に対する支援を行います。

生涯学習事業 事業費 976 千円

各島の生涯学習活動を支援し、社会教育の振興を図ります。

花いっぱい運動事業 事業費 710 千円

学校を中心に花いっぱい運動を展開し、花の多い地域を目指します。

ファミリー劇場 事業費 1,620 千円

各島で文化芸能に触れる機会を提供します。

公民館費 事業費 3,100 千円

公民館の管理運営費及び中之島東区及び西区の公民館トイレを改修します。

新26 村民体育大会費 事業費 755 千円

村民体育大会の実現に向け、実行委員会を立ち上げ検討します。

へき地パン・ミルク等給食費 事業費 1,692 千円

給食に要する経費の一部を助成し、給食費の負担軽減を図ります。

○ **災害復旧費**

新 補助道路災害復旧事業 事業費 153,000 千円

平成 28 年 1 月に発生した豪雨における諏訪之瀬島榑戸原本村線及び悪石島湯泊線の被災箇所の復旧を行います。

事業費 11,369 千円

生活に欠かせない食料品の運賃を支援し、生活費の負担軽減を図ります。

ななしま運航費等 事業費 17,703 千円

指定管理で運航しているななしま 2 に要する運航費用及びドック経費です。

特定離島(カレンダー制作) 事業費 2,752 千円

住民、友好島民に配布するほか、官公庁や観光関連企業等に配布し、PR します。

新 地域振興(温泉施設整備<中之島アイランドSPA 整備>) 事業費 37,061 千円

中之島地区に温泉施設(介護施設と併設)を整備します。

○ **土木費**

道路維持費 事業費 18,116 千円

道路の環境美化(伐採等)を行います。

補助道路新設改良事業 事業費 211,240 千円

口之島西之浜線、中之島海岸線、中之島御岳線、平島南之浜線及び東海岸線、諏訪之瀬島切石元浦線、悪石島湯泊線、宝島荒木崎線の新設改良工事を要望しています。

特定離島(防波堤等整備) 事業費 25,280 千円

台風等の波の侵入を防ぐため、平島の南之浜港の防波堤等を整備します。

補助港湾建設事業 事業費 675,000 千円

東之浜港と小宝島港の防波堤の整備を進めます。

港湾建設事業(委託) 事業費 2,938 千円

港湾整備における環境影響状況を確認するため、小宝島港の水底土砂のサンプリングを採取します。

県営港湾事業負担金 事業費 4,980 千円

県営事業により、中之島港の防潮扉の改修が行われます。

新26 地域再生計画(港湾) 事業費 332,500 千円

切石港防波堤の改良、小宝島港泊地の浚渫を計画しています。

○ **消防費**

消防団員報酬手当費 事業費 5,028 千円

女性消防団員の入団を推進します。

非常備消防一般経費 事業費 5,584 千円

ヘリポート整備、県消防学校入校、県消防学校現地指導会、離島防災訓練、防災通信経費、消防設備修繕、消防団員制服購入などの経費です。

防災会議費 事業費 113 千円

地域防災計画の見直しを検討するため、防災会議を開きます。

自主防災組織費 事業費 139 千円

県防災センターでの研修を予定しています。

○ **教育費**

新24 海外ホームステイ派遣事業 事業費 2,530 千円

前年度と同様 5 名の派遣を、夏季アメリカコースで計画しています。

畜産振興対策補助事業 事業費 9,254 千円

牛発情促進ホルモン剤・ダニ駆除剤の購入、及び子牛出荷運賃、並びに登記繁殖雌牛の更新、繁殖雌牛の導入・増頭を支援することで、畜産農家の負担を軽減します。また、新たにダニレスについて H26・H27 の 2 年計画で購入費の一部を助成する。

人工授精推進事業 事業費 1,484 千円

人工授精師の育成等を推進し、生産牛の品質向上を図る。

生産施設整備補助(畜産) 事業費 25,717 千円

平成 24 年度から個人も対象とすることとし、営農を目的とする農業の効率化、近代化を図るため、購入した設備費及び施設整備費の一部を助成します。

離島家畜衛生技術向上対策事業 事業費 4,554 千円

地域に獣医が常駐していないことから、各島の衛生補助員の育成、及び家畜診療所の医薬品購入など、衛生環境対策を講じます。

単独草地開発事業 事業費 7,952 千円

餌不足の軽減、及び品質向上のため、各島の草地改良を進めます。

畜産団体経営支援事業 事業費 3,155 千円

平成 24 年に設立されたトカラ畜産組合が自立するまでの概ね 5 年間(H24～H28)を目途に支援します。

新 地方創生(黒毛和種優良肉用繁殖雌牛導入事業) 事業費 52,395 千円

農家の規模拡大のため、積極的に優良繁殖肉用雌牛の導入を進め、農家の経営安定化と村全体の母牛頭数 1 千頭を目指します。

遊休農地対策事業 事業費 5,060 千円

遊休農地を有効活用するため、2.5ha の開墾を見込んでいます。

新 特定離島(特産品研究開発<竹林資源研究>) 事業費 1,492 千円

島の竹を利用した堆肥づくりなどの研究を進めます。

離島漁業再生支援事業 事業費 2,448 千円

漁業集落の実施する水産業振興事業に補助金を交付します。

生産施設整備補助(水産) 事業費 10,998 千円

平成 24 年度から個人も対象とすることとし、経営を目的とする漁業の効率化、近代化を図るため、購入した設備費及び施設整備費の一部を助成します。

新27 特定離島(水産物販売促進<トカラ-外セ-ルズ ロジエト>) 事業費 6,000 千円

山口水産に委託し、水産物の特産品開発、販路の拡大を図ります。

○ **商工費**

新 燃料輸送円滑化事業 事業費 1,191 千円

ガソリンを名瀬から購入する経費について支援します。

特定離島(生活物資輸送支援)

○ **労働費**

新 現業業務事業 事業費 5,404 千円

地域や現業業務員との意見交換等を通し、今後の雇用の在り方を検討します。平成 27 年度までの出張所支援業務と雇用創出事業を統合した事業です。

○ **農林水産業費**

農業委員会機構集積支援事業 事業費 1,306 千円

農地及び耕作放棄地の調査を行い、農地の有効活用を推進します。

新24 生産施設整備補助(農業) 事業費 2,785 千円

平成 24 年度から個人も対象とすることとし、営農を目的とする農業の効率化、近代化を図るため、購入した設備費及び施設整備費の一部を助成します。

有害鳥獣対策事業 事業費 195 千円

平成 23 年度から、増加した野ヤギ駆除対策に取り組みます。

新24 土壌改良促進事業 事業費 1,300 千円

畑の土壌を改良するための資材購入費用の一部を助成します。

新25 産品販売促進支援事業 事業費 500 千円

特産品の販路拡大、パッケージ制作等の活動を支援します。

新27 地域おこし協力隊(農業支援) 事業費 16,050 千円

特別交付税で措置される地域おこし協力隊を活用して、さらなる農林水産業の活性化を図ります。

特定離島(出荷運賃補助) 事業費 6,200 千円

農林水産物の出荷に要する運賃、及び畜産の飼料、敷料に係る運賃を助成することにより、輸送に係る農家の負担を軽減します。

新27 特定離島(物産宣伝対策) 事業費 7,488 千円

昨年度に引き続き、村単独の農林水産祭り(トカラのめぐみ味わいフェスタ)を実施します。

就業者支援事業 事業費 36,222 千円

一定の要件を満たす転入から間もない U I ターン者を対象に、村で自立するために産業に従事した日数に応じて、奨励金を交付します。

産業振興支援事業 事業費 5,110 千円

農業の生産、水産業の燃料輸送・出荷手数料、及び特定離島(出荷運賃補助)非該当産物の出荷運賃を助成することで、生産費用を軽減します。

新24 青年就農給付金事業 事業費 21,000 千円

就業者支援事業対象者のうち、本国庫補助事業の要件を満たす方は、国庫補助事業の規定に従い、概算払いで給付金が交付されます。就業者支援事業では、本事業で交付された額が差し引かれることになります。

新 有害虫対策 事業費 245 千円

ミカンコミバエの侵入を防ぐための誘引トラップをしかけるなどの対策を実施します。

村営定期船 フェリーとしま

平成 28 年 6 月運行予定

※名瀬港の改修工事が行われています。接岸岸壁は作業の状況により出港当日に決定いたします。

鹿児島 ← 十島村 ↔ 名瀬



十島村 土木交通課 航路対策室

TEL : 099-222-2101

フェリーとしま

TEL : 090-3022-4523



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
予定	入		出		入	出		入		出		入	出		入	出		入	出		入		出		入	出		入		
便区分			名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便		名瀬便(臨時便)		名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便			

※水曜日出港の臨時便が欠航した場合は、翌週の水曜日に振り替えて運航します。

「香典返し」

次の方から香典返しとして社会福祉協議会に寄付がありました。謹んでお悔やみ申し上げます。

※() は寄付された方

小林 良人さん
(小林 千恵子さん)

有川 五夫さん
(有川 ちづ子さん)

三川 須美雄さん
(三川 佳津久さん)

松下 ルイ子さん
(松下 傳男さん)

広報としまへの広告掲載募集!

●広告の規格・掲載料 (すべて消費税別)

縦 13.0cm × 横 8.5cm 月額 10,000 円

縦 13.0cm × 横 17.0cm 月額 15,000 円

A4 サイズ 1 頁 月額 30,000 円

●広告掲載の申し込み

広報誌広告掲載申込書 (第 1 号様式) に広告案を添えて総務課にご提出ください。

※申込書のダウンロードを含め、詳細は十島村HPをご覧ください。

編集/発行: 十島村役場 総務課 広報係

〒892-0822 鹿児島市泉町 14-15 tel:099-222-2101

よろしければ皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

十島村の人口・世帯数 平成 28 年 4 月末現在

島名	男性	女性	人口	世帯
口之島	68	68	136	79
中之島	90	71	161	92
平島	33	31	64	37
諏訪之瀬島	42	37	79	35
悪石島	39	34	73	37
小宝島	31	28	59	33
宝島	75	66	141	81
合計	378	335	713	394